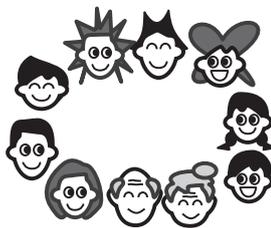


津谷歯科医院 口腔ケア新聞

NPO法人
訪問歯科診療
を広める会
賛助会員



令和3年4月号

発行人 津谷歯科医院

院長 津谷良

住所 岡山市中区海吉1807-14

紙面に関するお問い合わせは下記まで

電話：0120-779-418

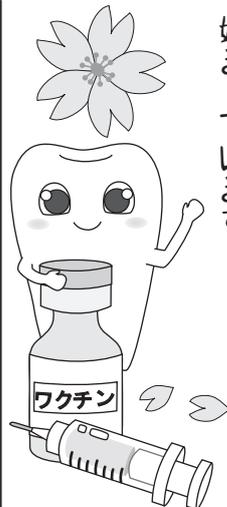
配信代行：訪問歯科診療を広める会

皆さん、こんにちは！いかがお過ごしですか？

津谷歯科医院、院長の津谷良です。

人は普段、何も意識せずに食事をしています。しかし食べることは、歯や舌等、様々な器官を複雑に動かすことが必要で、加齢による筋肉の衰えや病気、歯の欠損等、どこか一部分でも機能が低下すると、途端に食事が困難となります。食べる動作は、専門的に摂食嚥下の5期と言い、

①先行期：食べ物を目で認識する ②準備期：食べ物を口の中まで運び咀嚼する ③口腔期：口に入れた食べ物を舌と頬を使い口の奥から喉へ送る ④咽頭期：脳にある嚥下中枢からの指令で食べ物を食道へ送る ⑤食道期：食べ物を胃へ送り込む、という5段階に分類できます。歯科では②～③の段階を担う器官を担当しています。そこで今月は『口と口腔周囲の器官(組織)とその役割』についてお届けします。



新型コロナウイルスの接種が進む米英等の海外では、重症化や発症の予防だけでなく、感染予防も確認されているようです。ワクチンの効果は予想以上で、社会的距離の維持とマスクの着用は引き続き必要ですが、自粛の解除が続々と始まっています。

■ 各器官(組織)の役割

【唇】・・・顔の下部にある口腔への入口となっている大きな窓で、上下に唇があり左右に頬(ほお)があります。唇は食べ物の取り込み口であり飲食の際に食べ物が出ないようにする役割があります。

【歯】・・・28本(親知らずを含めると32本)あり、食べ物を切るシャベル状の切歯、切り裂くための犬歯、すり潰しをする臼歯の3種類があります。歯の表面は、人の体の中で最も硬いエナメル質で覆われています。歯を失う原因の半分がむし歯で、毎日の歯磨きで汚れを落とす(磨けている)ことが重要です。

【歯周組織】・・・歯の周りにある組織で、歯を支える役割があります。歯の周りを歯ぐきが支え、根っこの部分が顎の骨と強く結合しています。歯周病によって歯周組織の炎症が長期間続くと、歯を支えることができなくなり抜けてしまいます。歯周病は30歳以上で罹患率が高く、歯科医院で定期的に専門的口腔クリーニングを受けることで予防が可能です。

【頬(ほお)】・・・頬は唇や喉と筋肉でつながっていて協調して機能を発揮できるようになっています。

頬と舌を使って食べ物を飲み込みやすい形にした後、喉の奥へ送り込む働きをしています。

【舌】・・・味覚を感じる感覚器、発声のための運動器、食べ物を取り込んで飲み込むための消化器としての役割を担う非常に重要な器官です。舌の汚れは強い口臭や誤嚥性肺炎の原因となりますので、舌の動きが低下している要介護高齢者の場合、舌の清掃が必要となります。舌は傷つきやすいので、はじめに歯科医師や歯科衛生士から清掃道具や清掃方法のアドバイスを受けてください。

【唾液】・・・唾液は耳・顎・舌の3大唾液腺から分泌され、99%が水分で、分泌量は1日1.5~2リットルと言われています。主な役割は食べ物を飲み込みやすくする作用、でんぷんを吸収しやすい形に変える作用、口の中をきれいに保つ洗浄作用、口の中を湿らせる潤滑作用、口腔の粘膜を保護する作用等があります。口腔乾燥は加齢や服薬、放射線治療等が主な原因で、想像以上に苦痛と感じます。口腔保湿剤や人工唾液の使用と唾液腺マッサージによる対処療法が基本となります。

◆ 口と口腔周囲の各器官が連動して、食べ物を口から胃へ送り込んでいます！ ◆

口腔ケア新聞の発行にあたって 

ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療のお問い合わせやご依頼を受けるケースがとて増えてきました。小さな病気されてしまったことがキッカケで、寝たきりになってしまわれたりして、「いつもお元気でいいですね」って話をしていたのに・・・そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組まなければいけないかなって、強く思うようになりました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

津谷歯科医院

診療時間 9:00~12:30/14:00~18:30
(土曜日は16:30まで)

診療科目 歯科 小児歯科

休診日 木曜・日曜・祝祭日

院長 津谷良

岡山市中区海吉1807-14

☎ 0120-779-418 FAX 0120-779-413